



■ 市立横手病院 地域医療連携室 ■ 横手市根岸町5番31号

■ TEL 0182-33-9720・FAX 0182-33-7922 ■ E-mail:renkei@yokote-mhp.jp



## ごあいさつ

副院長 江畑 公仁男

日頃から地域の医療連携につきまして、皆様には大変お世話になっております。また当院の地域医療連携室に御高配を賜り、心から御礼申し上げます。

一年以上かかっておりました当院の改築工事も順調に進み、7月1日からは公園側の玄関も新しくなりました。また入院患者さんの食事を担う厨房施設や1階の売店も新しくなりました。現在は全ての工事が終了し、病棟のシャワー室なども新しくなり、もとおりのおちついた療養環境となっております。

昨年から続くコロナもワクチンの接種が進んできております。もう少しで落ち着いた状態になるものと期待しております。先生方におかれましても感染防止対策、PCR検査、更にワクチン接種など、通常の診療以外でのご負担が多かったものと推察いたします。

当院は横手市の感染症指定病院との位置づけから、昨年来コロナ対応に追われてきました。東京などの大都市に比較すると秋田県の患者数は少ないものの、時々発生するクラスターに病床数が追いつかないようです。高齢者のワクチン接種はずいぶん進んだものの、65歳以下の接種はこれからであります。幸い横手市でのクラスターは出ていないものの、県南地区での患者は毎日のように発生しております。当院でも秋田市を含めた多くの地域からのコロナ患者さんの入院対応にいまだに追われている状況です。今は、この地域でのワクチン接種が完了するまでに大きな波が来ないことを願うばかりです。

今回のコロナ禍ではリモートワークなどの新しい就業形態やテイクアウト需要の増加など、日常生活での変化が報道などで取り上げられておりました。一方で患者さんたちの受診行動にも変化が起きているように感じております。

「3密」の最たるものである病院には、昨年より受診を控える患者さんが多く見受けられました。比較的病状の落ち着いた慢性疾患の患者さんが、感染リスクを敬遠したためと思われる。また我々病院は、どれか一つの科にかかっている患者さんの全てを把握できないことも多いように思います。今回のコロナ対応ではPCR検査にしても、ワクチン接種にしても「かかりつけ医」から始まる体制となっております。患者さんはこれまで以上に、何でも相談できる「かかりつけ医」の重要性に気づいたのではないのでしょうか。

今後コロナが収束した時、患者さんの受診行動がどう変化するか予想もつきませんが、地域内での連携した医療が一層重要になってくるものと思われます。当院は小さな病院ですが、先生方からの専門的な検査や手術依頼に対して対応できるように、職員一同研鑽に努めてまいります。今後ともご指導よろしくお願いたします。

## 大規模改修工事を終えて



施設整備基本計画  
策定委員会委員長  
副院長 吉岡 浩

当院では令和2年6月より本年8月までの15ヶ月間にわたり、大規模な施設の改修と設備の更新を行いました。

改修工事の期間中はご利用の皆様には、工事に伴う騒音や出入口の変更等でご迷惑をおかけいたしました。無事に事故なく完工することが出来ました。

連携医療機関をはじめ、関係各位には改めてご協力に感謝申し上げます。このたびの改修工事では主に経年劣化が進んでいる建物の改修や設備の更新を行うことにより、病院機能の長寿命化を図るとともに快適で利便性の高い院内環境の整備と患者サービス向上を目指して実施してまいりました。

### 主な工事内容

- 病院給食施設の全面的なリニューアル（厨房機器更新、床のドライ化等）及び温冷配膳車の導入等
- 公園口の拡張及び周辺環境整備（乗降スペースの確保、屋根の新設等）
- 受水槽、地下埋設オイルタンク、ボイラー、高圧受電設備等のライフライン設備の更新
- 外壁タイルと屋上防水改修、出入口止水板の設置（浸水防止対策）
- 病棟浴室改修、エレベーター更新、陰圧室の設置等
- 売店改修、休憩コーナーの整備等
- 薬剤科のセキュリティーの強化と服薬指導室の整備
- 医療相談室のリニューアル等

診察を継続しての改修工事であることや基本設計時等には想定されていなかった「新型コロナウイルス感染症」への対応のため、設計や工期の変更を余儀なくされたこともございましたが、施工業者をはじめ、工事関係者各位のご協力のもと、予定された工期での完成となりました。

今後も地域の医療・保健に貢献出来るよう、心ふれあう人間味豊かな対応で、安心できる良質な医療の提供に努め、地域の人々に信頼される病院を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



完成した公園口

## 食 養 科

令和2年10月より食養科厨房の改修工事が始まり、令和3年3月に完成し、4月から新厨房からの食事提供となっております。

厨房内は清潔区域、準清潔区域、汚染区域に区切られており、厨房入り口は自動ドア、床はドライシステム、食材の流れを一方通行にすることができる両面扉の冷凍冷蔵庫、同じく使用された食器も一方通行になるような流れの両面扉の食器消毒保管庫、以前は不足していた手洗い場も5カ所に増設と衛生面に配慮した造りとなっております。



4月より導入の温冷配膳車



温は65℃、冷は5℃設定

していたことに加え、このたび温冷配膳車の導入にて温度の面でも患者様に喜んでいただける食事の提供ができるようになり、栄養指導の時など食事が美味しくなったとのお言葉を患者様から度々いただくようになりました。

今後も安心安全で、患者様に喜ばれる食事の提供ができるよう、委託先と協力しながら努力していきたいと思っております。

そして、この改修工事に伴い温冷配膳車が導入され、今まで以上に温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態での食事提供が可能となりました。温は65℃、冷は5℃に設定しており、片方に偏らないよう献立内容も工夫しています。

現在当院は、給食業務を日清医療食品株式会社に全面委託しております。患者様1人1人への個人対応や年数回の行事食など、直営時から実施



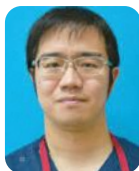
食器も一部リニューアル

## 地域医療連携セミナー中止のお知らせ

例年開催しておりました「地域医療連携セミナー」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することといたします。ご理解の程宜しくお願いいたします。

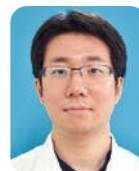
# 医師の紹介

- ①出身大学(卒年) ②資格  
③趣味・特技 ④抱負



渡邊 翼 (外科)

- ①秋田大学 (2013年)  
③カーリング・読書  
④皆様が安心して治療を受けられるよう丁寧な説明、診察を心掛けてまいります。



渡部 祐介 (糖尿病内分泌内科)

- ①自治医科大学 (2016年)  
②結核学会認定医・産業医・禁煙サポーター  
③旅行  
④糖尿病治療に貢献します。よろしくお願いいたします。



千葉 和宏 (研修医)

- ①日本医科大学 (2021年)  
②AHA-BLS プロバイダー  
③漫画・サッカー  
④皆様のお力になれるよう頑張ります。



小松 洋 (研修医)

- ①岩手医科大学 (2021年)  
③サウナ・コーヒー  
④日々感謝の気持ちを持って頑張ります。よろしくお願いいたします。



宮田 隆成 (研修医)

- ①秋田大学 (2021年)  
③音楽ライブに行くこと  
④地域の皆様の役に立てるようがんばります。

## 院内がん登録

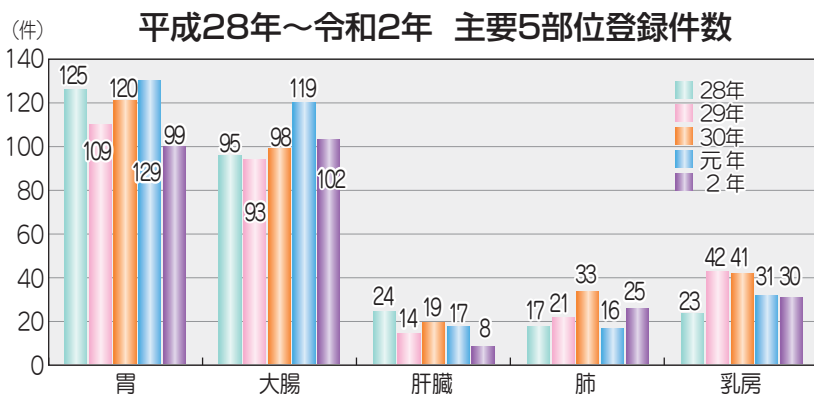
令和2年(対象期間：令和2年1月1日から令和2年12月31日)の当院の院内がん登録件数は、401件となっており、令和元年と比較すると49件減少しております。

がん登録の内訳は、大腸癌が102件と最も多く、次いで、胃癌(99件)、乳癌(30件)となっております。

主要5部位については、肺癌を除く4部位が前年より減少しております。特に胃癌は過去5年間で最も少なくなっており、前年より30件減少しております。

大腸癌は、前年より17件減少しておりますが、5年間で初めて胃癌を抜いて最多件数となりました。また、主要5部位以外では、食道(22件)、膵臓(22件)、胆道(21件)が多くなっております。

初回治療件数は、鏡視下手術が前年より24件増加しており、外科的手術と内視鏡の手術を含む癌の病巣を切除する観血的治療は、全体の56%を占めております。



\* その他とは、経過観察、症状緩和的治療等を含めております。

